

第1学年「国語科」シラバス

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

「評価」と「評定」について

○ 評価：次の3観点をそれぞれ3段階（ABC）で表す。

【知識・技能】

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。

- (1) 言語の特徴や使い方
・定期テスト、小テスト（漢字・文法・言語事項）
- (2) 情報の扱い方
・授業での取組
- (3) 我が国の言語文化
・定期テスト、小テスト（古典）
・古典の暗唱
・硬筆、書きぞめ

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。

- A 話すこと・聞くこと
- ・授業での取組
 - ・日常の言語活動
 - ・スピーチ、音読、朗読等
 - ・聞き取りテスト
- B 書くこと
- ・ノート、ワークシートの記述等
 - ・感想文、作文
 - ・定期テスト
- C 読むこと
- ・授業での取組
 - ・定期テスト

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。

- ・授業への取り組み
- ・自己評価カードの記述
- ・ワーク、ノート、プリント、新聞ワークシート等の取組や提出状況

○ 評定：上記3観点の観点別学習状況の単元ごとの評価をもとにして、5段階で表す。

学期・月	学習内容
前 4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション 1 表現/対話/思想 ・ふしぎ ・桜蝶 ・お気に入りの一品を紹介する ・文法の小窓1 言葉の単位 2 自然/環境/科学 ・自分の脳を知っていますか ・資料から得た根拠をもとに意見文を書く ・硬筆 ・漢字の広場1 漢字の部首 ・言葉の小窓1 日本語の音声 3 人権/多様性/平和 ・ベンチ
7	<ul style="list-style-type: none"> ・全ては編集されている/写真で「事実」を表現する ・漢字の広場2 画数と活字の字体 ・材料を整理して案内文を書く 4 自然/環境/科学 ・持続可能な未来を創るために ・森には魔法つかいがいる ・文法の小窓2 文の成分 ・根拠を明確にして意見文を書く 5 伝統/文化/歴史 ・昔話と古典 ・物語の始まり ・故事成語 ・蜘蛛の糸 6 身体/生命/家族 ・河童と蛙 ・オツベルと象 ・随筆を書く ・書きぞめ ・言葉の小窓2 日本語の文字 7 近代化/国際社会/共生 ・子どもの権利 ・漢字の広場3 漢字の音と訓 8 伝統/文化/歴史 ・言葉がたなご世界遺産/地域から世界へ ・文法の小窓3 単語のいろいろ ・発言を結び付けて話し合う ・漢字の広場4 熟語の構成 9 自己/他者/物語 ・四季の詩 ・少年の日の思い出 ・言葉の小窓3 方言と共通語
後 12	
1	
2	
3	

使用する教科書：教育出版「伝え合う言葉 中学国語1」

第3学年「国語科」シラバス

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

「評価」と「評定」について

○ 評価：次の3観点をそれぞれ3段階 (ABC) で表す。

【知識・技能】

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。

- (1) 言語の特徴や使い方
 - ・ 定期テスト、小テスト (漢字・文法・言語事項)
 - ・ 情報の扱い方
 - ・ 授業での取組
- (2) 我が国の言語文化
 - ・ 定期テスト、小テスト (古典)
 - ・ 古典の暗唱
 - ・ 硬筆、書きぞめ

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

- 話すこと・聞くこと
 - ・ 授業での取組
 - ・ 日常の言語活動
 - ・ スピーチ、音読、朗読等
 - ・ 聞き取りテスト
 - 書くこと
 - ・ ノート、ワークシートの記述等
 - ・ 感想文、作文
 - ・ 定期テスト
 - 読むこと
 - ・ 授業での取組
 - ・ 定期テスト
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。
- ・ 授業への取り組み
 - ・ 自己評価カードの記述
 - ・ ワーク、ノート、プリント、新聞ワークシート等の取組や提出状況

○ 評定：上記3観点の観点別学習状況の單元ごとの評価をもとにして、5段階で表す。

学期・月	学習内容
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション 1 自己/他者/物語 <ul style="list-style-type: none"> ・ 春に ・ 立ってぐる春 ・ なぜ物語が必要なのか ・ 私 2 人権/多様性/平和 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薔薇のボタン ・ 硬筆 ・ 構成を考えて主張をまとめる ・ スタイアリテションはなぜ必要か? / 新聞が伝える情報を考える ・ 漢字の広場 1 吳音・漢音・唐音 ・ 文法の小窓 1 助詞のはたらき
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ AIは哲学でできるか 3 自然/環境/科学 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の広場 2 熟字訓 ・ 言葉の小窓 1 和語・漢語・外来語 4 表現/対話/思想 <ul style="list-style-type: none"> ・ async ・ 問いかける言葉 ・ 説得力のある批評文を書く ・ 文法の小窓 2 助動詞のはたらき ・ 言葉の小窓 2 相手に対する配慮と表現 ・ ニュースで情報を編集する
7	<ul style="list-style-type: none"> 5 伝統/文化/歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅への思い ・ 和歌の調べ ・ 風景と心情 ・ 最後の一句 ・ 漢字の広場 3 異字同訓 ・ 言葉の小窓 3 慣用句・ことわざ 6 自己/他者/物語 <ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句の味わい ・ 初恋 ・ 書きぞめ ・ 故郷 ・ 自己PR文を書く ・ 表現の工夫を評価してスピーチをする ・ 漢字の広場 4 四字熟語 7 近代化/国際社会/共生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な未来を創るために 8 未来のあなたへ <ul style="list-style-type: none"> ・ バースデイ・ガール ・ 青春の歌 ・ やわらかな想い
10	
11	
12	
後	
3	

使用する教科書：教育出版「伝え合う言葉 中学国語3」

1 地理的分野を学習するねらい

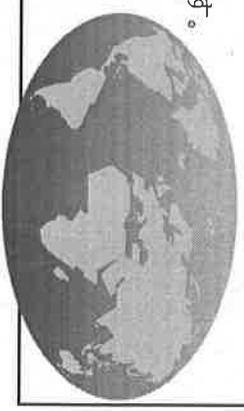
- ・日本や世界の地理的分野に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土の地理的特色を考察し理解します。
- ・地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土に対する認識を養います。

2 歴史的分野を学習するねらい

- ・歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を、世界の歴史を背景に理解します。
- ・歴史学習を通して、我が国の文化と伝統の特色を、広い視野に立って考えるとともに我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を高めます。

3 地理的分野の学習

- ・世界のすがたや生活と環境、世界の諸地域をとらえるとともに、そのとらえ方を学習します。
- ・具体的な事例を通して、地理的な見方や考え方を培い、地理的技能を身に付けます。
- ・地球儀や様々な地図、写真、統計資料などを活用したり、調べたことをまとめて分布図や資料を作成したりします。
- ・観察や調査活動など野外での学習を実施します。をとらえることを行います。
- ・比較したり、関連付けて考えたり、地域の変化を学習を展開します。
- ・自分で課題をつくって調べ、まとめ、表現したり、表現するときに。
- ・地域の情報を集めたり、調べたこと、まとめ、表現するときに。
- ・インターネットやコンピュータを活用します。
- ・歴史的分野と連携し、公民的分野と関連も図りながら学習を進めます。
- ・地理的分野の基礎として主な国名を覚えます。



4 歴史的分野の学習

- ・身近な地域の歴史を学習し、大きな歴史の流れのなかの位置づけや、郷土の歴史に対する関心を高めま
- ・我が国の歴史の流れを大きくとらえ、各時代の特色をつかむようにします。
- ・世界の歴史は、我が国の歴史を理解するための背景として学びます。
- ・歴史上大きな役割を果たした人物や、各時代のを表す文化遺産を取り上げ学習を進めていきます。
- ・我が国と諸外国の歴史や文化との関わりや他民族の文化・生活などの関心を持つことにより国際協調の精神を身に付けます。
- ・地理的分野と連携し、公民的分野と関連も図りながら学習を進めます。

5 評価

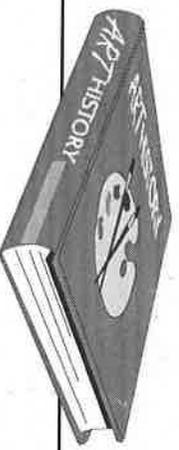
① 評価の観点 次の3つが評価の観点です

- ・主体的に学習に取り組む態度 → 地理的事象、歴史的事象に関心を持ち意欲的に学習している。
- ・社会的な思考・判断・表現 → 地理的事象、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。

- ・社会的事象についての知識・技能 → 様々な資料や情報を適切に選択・活用するとともに、地理的事象、歴史的事象の意義や特色を、理解し、その知識を身につけている。

② 評価の方法

- 主体的に学習に取り組む態度 ⇒ 授業態度、課題、ノート、ワークなどの提出物で評価します。
- 知識・技能、思考・判断・表現 ⇒ 課題や定期テストで評価します。



6 学習内容

【地理的分野】

単元名		学習のねらい		主な学習内容	
第1章 世界のすがた		<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や地図を活用して大陸と海洋の形状や分布を取り上げ、地球規模での位置関係をとらえるための技能と知識を身に付ける。 緯度と経度による地球上の位置の表し方を身につける。 世界の地域区分やおもな国々の名称と位置などを 		<ul style="list-style-type: none"> 大陸と海洋の分布 緯度と経線、標準時と時差 本初子午線と日付変更線 地球儀と地図のちがいを 世界の地域区分(大陸・州など) おもな国々の名称と位置 	
日本のすがた		<ul style="list-style-type: none"> 日本の国土の位置および領域を多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観する。 都道府県の名称と位置を地図上で確実に身につける。 		<ul style="list-style-type: none"> 日本の位置 日本列島と領域・北方領土 日本地図の活用・日本の地域区分 47都道府県と都道府県庁所在地 	
第2章 世界各地の人々の世活と環境		<ul style="list-style-type: none"> 地域で異なる自然環境の違いをとらえさせる。 人々の生活と環境とのかかわりや、様々な条件のもとで多様な生活を営んでいることを理解させる。 様々な宗教や宗教とかがわりの深い生活が営まれていることを理解させる。 アジア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 アジア州の地域的特色を「経済の成長」より理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> アジア州をながめて 経済成長がいちじるしい中国とインド 急速に委わる東南アジア 多様な民族と経済成長 	
第3章 世界の諸地域		アジア州	<ul style="list-style-type: none"> アジア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 アジア州の地域的特色を「特定の生産品にたよる生活からの変化」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州をながめて アジア州の産業と新たな開発 アジア州の課題と展望 	<ul style="list-style-type: none"> アジア州をながめて ヨーロッパ州の共通性 進むヨーロッパ統合 ヨーロッパの課題とロシア連邦
ヨーロッパ州		<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 ヨーロッパ州の地域的特色を「国家間の統合による変化」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 ヨーロッパ州の地域的特色を「カ合衆国を中心とした産業の発達」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州をながめて 広大な国土と工業化した農業 工業の発達と工業地域 アメリカで生まれた生活・文化 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ州をながめて ヨーロッパ州の課題と展望 ヨーロッパ州の課題と展望
北アメリカ州		<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 北アメリカ州の地域的特色を「オセアニア州との結びつき」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 北アメリカ州の地域的特色を「開発の進展と環境問題」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ州をながめて 南アメリカ州をながめて 自然環境と共生する人々 開発の進行とその影響 	<ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ州をながめて 南アメリカ州をながめて 自然環境と共生する人々 開発の進行とその影響
南アメリカ州		<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 南アメリカ州の地域的特色を「オセアニア州との結びつき」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 南アメリカ州の地域的特色を「オセアニア州との結びつき」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州をながめて 南アメリカ州をながめて 自然環境と共生する人々 開発の進行とその影響 	<ul style="list-style-type: none"> 南アメリカ州をながめて 南アメリカ州をながめて 自然環境と共生する人々 開発の進行とその影響
オセアニア州		<ul style="list-style-type: none"> オセアニア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 オセアニア州の地域的特色を「アジアとの結びつき」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> オセアニア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について理解する。 オセアニア州の地域的特色を「アジアとの結びつき」より理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> オセアニア州をながめて 資源によるアジアとのつながり 人々によるアジアとのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> オセアニア州をながめて 資源によるアジアとのつながり 人々によるアジアとのつながり
第4章 世界のさまざまな地域の調査		<ul style="list-style-type: none"> 国や地域の地域的特色をとらえるとともに、とらえる視点や方法を身につける。 		<ul style="list-style-type: none"> 地図や統計資料を収集し、分析・整理、考察して、地域的特色をまとめ発表する。 	

【歴史的分野】

単元名		学習のねらい		主な学習内容	
第1章 歴史の とらえ方		<ul style="list-style-type: none"> 中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高める。 大きな流れで歴史をとらえるとともに、調べ学習のポイントを理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史学習のはじめに 歴史の大きな流れを見よう 歴史の調べ学習をするには 	
第2章 古代まで の日本		<ul style="list-style-type: none"> 日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連づけて理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 文明のおこりと日本の成り立ち 古代国家の展開と東アジア世界 	
第3章 中世の日本		<ul style="list-style-type: none"> 東アジア世界とのかかわりを背景に、武士の成長から戦国大名の登場までの武家社会の展開を理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 武士の台頭と鎌倉幕府 東アジア世界とかわりりと社会の変動 	

1 地理的分野を学習するねらい

- ・日本や世界の地理的分野に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土の地理的特色を考察し理解します。
- ・地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土に対する認識を養います。

2 歴史的分野を学習するねらい

- ・歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を、世界の歴史を背景に理解します。
- ・歴史学習を通して、我が国の文化と伝統の特色を、広い視野に立って考えるとともに我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を高めます。

3 地理的分野の学習

- ・日本の地域的特色をとらえるとともに、そのとらえ方を学習します。その際、世界から見た日本のすがたや日本の各地方をそして身近な地域という順番で学習していきます。
- ・具体的な事例を通して、地理的な見方や考え方を培い、地理的技能を身に付けます。
- ・地球儀や様々な地図、写真、統計資料などを活用したり、調べたことをまとめて分図や資料を作成したりします。
- ・観察や調査活動など野外での学習を実施します。
- ・比較したり、関連付けて考えたり、地域の変化を学んだり、表現することを行います。
- ・自分で課題をつくらせたり調べ、まとめ、表現したり、学習を展開します。
- ・地域的情報を集めたり調べ、まとめ、表現したり、学習を展開します。
- ・インターネットやパソコン、タブレットを活用します。
- ・歴史的分野と連携し、公民的分野と関連も図りながら学習を進めます。
- ・地理的分野の基礎として、4つの分野と関連も図りながら学習を進めます。



4 歴史的分野の学習

- ・身近な地域の歴史を学習し、大きな歴史の流れのなかの位置づけや、郷土の歴史に対する関心を高めます。
- ・我が国の歴史の流れを大きくとらえ、各時代の特色をつかむようになります。
- ・世界の歴史は、我が国の歴史を理解するための背景として学びます。
- ・歴史上大きな役割を果たした人物や、各時代の文化遺産を取り上げ学習を進めていきます。
- ・我が国と諸外国の歴史や文化との関わりや他民族の文化・生活などの関心を持つことにより国際協調の精神を身に付けます。
- ・地理的分野と連携し、公民的分野と関連も図りながら学習を進めます。

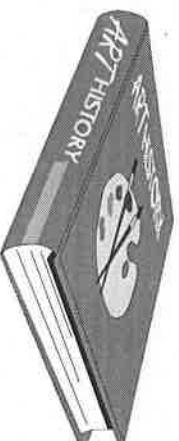
5 評価

① 評価の観点 次の3つが評価の観点です

- ・主体的に学習に取り組む態度 → 地理的事象、歴史的事象に関心を持ち意欲的に学習している。
- ・社会的な思考・判断・表現 → 地理的事象、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。
- ・社会的事象についての知識・技能 → 様々な資料や情報を適切に選択・活用するとともに、地理的事象、歴史的事象の意義や特色を、理解し、その知識を身につけている

② 評価の方法

- ・多面的に評価します
- ・定期テストだけでなく、小テスト、レポート、プリント、授業への取り組み、ワーク、作品など多様な方法で評価します。
- ・日々の授業でも評価します
- ・日々の授業で見られるよい面を積極的に評価します。



6 学習内容

【地理的分野】

単元名		学習のねらい	主な学習内容
日本 の 諸 地 域	世界から見た 日本の自然環境	・日本の地域的特色を人口の面から追究し、理解する。 ・日本の地域的特色を資源・エネルギーや産業の面から追究し、理解する。	・造山帯と地震、火山 ・日本と外国の川の比較 ・世界の気候帯と日本の気候
	世界から見た 日本の人口	・日本の地域的特色を地域間の結びつきの面から追究し、理解する。 ・九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全を産業保全を産業や地域開発の動向、人々の生活などを理解する。	・世界と日本の人口、人口問題 ・過密地域と過疎地域 ・世界の資源や産業 ・日本の多様な産業地域 ・環境やエネルギー問題 ・交通、通信、情報網 ・運輸、流通業
	九州地方	・九州地方の地域的特色について、都市と農村の変化を人々の生活や産業などから理解する。	・中国・四国地方の変化と人々のくらし
	中国・四国地方	・近畿地方の地域的特色を、産業や文化の歴史的背景や開発の歴史から理解する。	・近畿地方をながめて ・歴史の中で形づくられてきた人々の歴史
	中部地方	・中部地方の地域的特色について、東海、中央高地、北陸の各地域の違いを、自然条件と社会的条件から理解する。	・中部地方をながめて ・活発な産業を支える人々のくらし
	関東地方	・関東地方の地域的特色について、東京に日本を動かす中枢機能が集中していることを理解する。	・関東地方をながめて ・さまざまな地域と結びつく人々のくらし
	東北地方	・東北地方の地域的特色を、伝統的な生活や文化を通して、自然環境や歴史的背景などを理解する。	・東北地方をながめて ・伝統的な生活や文化を守り育てる人々のくらし
	北海道地方	・北海道地方の地域的特色を、自然環境の特色から理解する。	・北海道地方をながめて ・雄大な自然とともに生きる人々のくらし
	身の 近調 な 地 域	・熊谷市の地形図をもとに、地図の約束を理解する。 ・観察や調査活動を通して、身近な地域に対する理解と関心を深める。	・地形図の活用 ・縮尺と地図記号・等高線と土地利用 ・景観のとらえ方 ・野外観察や調査活動 ・聞き取り調査やアンケート調査

【歴史的分野】

単元名	学習のねらい	主な学習内容
第4章 近世の日本	・織田、豊臣および江戸幕府の統一事業を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたという大きな時代の流れを理解する。	・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と鎖国 ・産業の発達と幕府政治の動き
第5章 開国と近代日本 の歩み	・市民革命や産業革命を経た欧米諸国のアジア進出を背景に、日本の開国とその影響について理解する。 ・明治維新の経緯のあらましを理解し、新政府の諸改革により近代国家の基礎が整えられたことに気付く。 ・急速に近代化を進めた我が国の国際的地位の向上と大陸との関係のあらましを理解する。 ・我が国の近代産業と国民生活の変化を理解するとともに、近代文化の形成と文化の大衆化に気付く。	・欧米の進出と日本の開国 ・独立戦争、フランス革命、人権宣言、産業革命、アヘン戦争、日米修好通商条約、大政奉還等 ・明治維新 ・五か条の御誓文、藩置廃県、富国強兵、殖産興業、文明開化、岩倉使節団、自由民権運動、大日本帝国憲法等 ・日清・日露戦争と近代産業 ・帝国主義、日清戦争、日露戦争、財閥

1 歴史的分野を学習するねらい

- ・ 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を、世界の歴史を背景に理解します。
- ・ 歴史学習を通して、我が国の文化と伝統の特色を、広い視野に立って考えるとともに我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を高めます。

2 公民的分野を学習するねらい

- ・ 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識し、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培います。
- ・ 民主政治の意義、国民中心の生活の解をうかがい、現代の社会生活などについて、個人と社会との諸問題にかかわりさせ、自ら考えようとする態度を育てます。
- ・ 国際的な相互依存関係が深まり合う中で、世界平和の現実と人権の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各々が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と現代の繁栄を社会的事実として、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てます。

3 歴史的分野の学習

- ・ 身近な地域の歴史を学習し、大きな歴史の流れのなかの位置づけや郷土の歴史に対する関心を高めます。
- ・ 我が国の歴史の流れを大きくとらえ、各時代の特色をつかむよう学びます。
- ・ 世界の歴史は、我が国の歴史を理解するための背景として学びます。
- ・ 歴史上大昔外国を果敢とした人物や、各時代の文化遺産を取り上げ学習を進めていきます。
- ・ 我が国と諸外国の歴史や文化との関わりや他民族の文化・生活などの関心を持つことにより国際協調の精神を身に付けます。
- ・ 地理的分野と連携し、公民的分野と関連も図りながら学習を進めます。

4 公民的分野の学習

- ・ 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解させるとともに、それらが政治、経済、国際関係の仕方に与えていることを学びます。
- ・ 社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて学びます。
- ・ 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解せるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基となる考え方の学習を行います。
- ・ 本国や地方公共団体が果たしている役割について考えます。切であることを学びます。
- ・ 民主的な社会生活営むためには、法に基づく政治が大基礎を育てます。
- ・ 地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てます。
- ・ 国際社会における我が国の役割について考え、戦争を防止し世界平和を確立するための態度を育てます。私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめます。

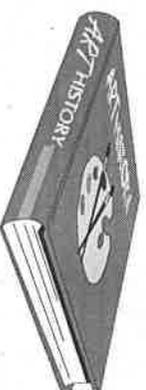
5 評価

① 評価の観点 次の3つが評価の観点です

- ・ 主体的に学習に取り組む態度 → 現代社会的な事象に関心を持ち意欲的に学習している。
- ・ 社会的な思考・判断・表現 → 現代社会的な事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断している。
- ・ 社会的事象についての知識・技能 → 様々な資料や情報を適切に選択・活用するとともに、現代社会的な事象の意義や特色を理解し、その知識・技能を身につけている。

② 評価の方法

- ・ 多面的に評価します
定期テストだけでなく、小テスト、レポート、プリント、授業への取り組み、ワーク、作品など多様な方法で評価します。
- ・ 日々の授業でも評価します
日々の授業で見られるよい面を積極的に評価します。



<p>単元名 第一大戦 第二次世界大戦と日本</p>	<p>学習のねらい 戦後の民族運動の情勢の 大戦の経過、戦後の国際情勢の 戦後の国際情勢の経過、戦後の国際情勢の</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>
<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>	<p>現代の日本と世界 第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦と日本</p>

第1学年「数学科」シラバス

*使用する教科書会社名・・・『啓林館』

**数学の領域構成
の4領域です。**

**数と式
図形
関数
データの活用**

- ☆数と式：正の数・負の数、文字の式
方程式
- ☆図形：平面図形、空間図形
- ☆関数：変化と対応
- ☆データの活用：ヒストグラム、相対度数
データにもとづく確率

数学科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだした総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

学習月		学習内容(時数)
前期	4	オリエンテーション (1)
	5	1. 正の数・負の数 (26) ・ 正の数・負の数 ・ 正の数・負の数の計算 ・ 正の数・負の数の利用
	6	2. 文字の式 (17) ・ 文字を使った式 ・ 文字式の計算
後期	9	3. 方程式 (16) ・ 方程式 ・ 方程式の利用
	10	4. 変化と対応 (18) ・ 関数 ・ 比例 ・ 反比例
	11	5. 平面図形 (18) ・ 直線図形と移動 ・ 基本の作図 ・ 円とおうぎ形
	12	6. 空間図形 (19) ・ 立体と空間図形 ・ 立体の表面積と体積
	1	7. データの活用 (12) ・ 資料の傾向を調べよう
	2	
	3	

評価と評定について

○評価：次の3観点をそれぞれ3段階で表す。

【主体的に学習に取り組み態度】

- ・ 授業への取り組み、積極的に取り組んでいるか。
- ・ ノートやワーク、宿題の提出物の提出状況

【思考・判断・表現】

- ・ 既習事項を活用して新たな課題を解決することができるか。

・ 「なぜそうなるのか」を考えわかりやすく説明できるか。

【知識・技能】

- ・ 各単元に関する基礎的な概念や原理・法則等を理解しているか。
- ・ 計算、作図、式化などを数学的に表現、処理したりする方法を身に付けているか。

○評価方法

- ・ 毎日の授業の様子
- ・ 定期テスト、単元末テスト、小テスト
- ・ ノートやワーク等の提出物 など

○評定

- ・ 上記3観点の観点別学習状況の単元ごとの評価をもとにして、5段階で表す。

○道具

- ・ 教科書、ノート、ワーク、定規、パイプター
- ・ 三角定規、コンパス、電卓などは必要な単元で連絡します。

数学科より

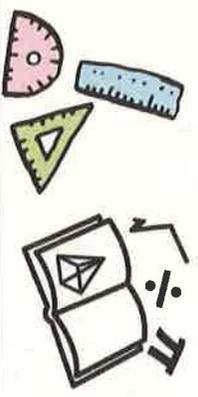
- 1 必ずやる気をもって授業に臨みましょう。
- 2 既習事項の確認や基礎・基本の定着状況を自ら把握できるように、小テストや単元テストを実施します。授業の復習をしっかり行いましょう。
- 3 ノートの文字は丁寧な字で、大事などころは色ペンで、後から見てもわかるノートづくりをしよう。
- 4 分からないことをそのままにしないようにしましょう。先生たちはいつでも質問受け付けています。気軽に声をかけてください。

1年間一緒に/頑張りましょう!!

1学年 数学担当

☆田口 大樹☆

☆藤田 豪☆



数と式
図形
関数
データの活用
の4領域です。

- ☆数と式：式の計算、連立方程式
- ☆図形：図形の調べ方、図形の性質と証明
- ☆関数：一次関数
- ☆データの活用：場合の数と確率、箱ひげ図とデータの活用

数学科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。

(2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性と意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。

(3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。

(4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。

評価と評定について

○評価：次の3観点をそれぞれ3段階で表す。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・授業への取り組み、積極的に取り組んでいるか。
- ・ノートやワーク、宿題の提出物の提出状況

【思考・判断・表現】

・既習事項を活用して新たな課題を解決することができるか。

・「なぜそうなるのか」を考え、わかりやすく説明できるか。

【知識・技能】

- ・各単元に関する基礎的な概念や原理・法則等を理解しているか。
- ・計算、作図、式化などを数学的に表現、処理したりする方法を身に付けているか。

○評価方法

- ・毎日の授業の様子
- ・定期テスト、単元テスト、小テスト
- ・ノートやワーク等の提出物 など

○評定

・上記3観点の観点別学習状況の単元ごとの評価をもとにして、5段階で表す。

○道具

- ・教科書、ノート、ワーク、バインダー
- ・三角定規、コンパス、電卓などは必要な単元で連絡します。

学習月		学習内容(時数)
前期	4	オリエンテーション (1)
	5	1. 式の計算 (12) ・式の計算 ・文字式の利用
後期	6	2. 連立方程式 (13) ・連立方程式 ・連立方程式の利用
	7	3. 一次関数 (20) ・一次関数とグラフ ・一次関数と方程式 ・一次関数の利用
	8	4. 図形の調べ方 (16) ・平行と合同 ・証明
後期	9	5. 図形の性質と証明 (19) ・三角形 ・四角形
	10	6. 場合の数と確率 (8) ・場合の数と確率
	11	7. 箱ひげ図とデータの活用 (7) ・箱ひげ図
後期	12	
	1	
	2	
	3	

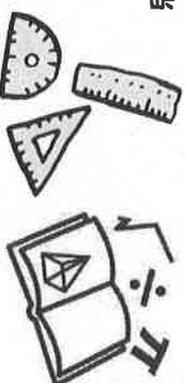
数学科より

- 必ずやる気をもって授業に臨みましょう。
- 既習事項の確認や基礎・基本の定着状況を自ら把握できるように、小テストや単元テストを実施します。授業の復習をしっかり行いましょう。
- ノートの文字は丁寧な字で、大事なところは色ペンで、後から見てもわかるノートづくりをしよう。
- 分からないことをそのままにしないようにしましょう。いつでも質問受け付けています。気軽に声をかけてください！

1年間一緒に頑張ります！！

2学年 数学担当

☆塚田 翔太☆



第3学年「数学科」シラバス

数学の領域構成
の4領域です。

数と式
図形
関数
それぞれの活用

- ☆数と式：式の展開と因数分解、平方根、二次方程式
- ☆図形：円の性質、図形と相似、三平方の定理
- ☆関数：関数 $y=ax^2$
- ☆資料の活用：標本調査

数学科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数学的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したリ、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

学習月		学習内容 (時数)
前期	4	オリエンテーション (1)
	5	式の展開と因数分解 (1 9) ・式の乗法、除法・乗法の公式 ・因数分解 ・式の計算の利用
	6	平方根 (1 6) ・平方根 ・根号を含む式の計算 ・平方根の利用
	7	二次方程式 (1 5) ・二次方程式 ・二次方程式の利用
	7	関数 $y=ax^2$ (1 8) ・関数とグラフ ・関数 $y=ax^2$ の値の変化 ・いろいろな事象と関数
後期	1 0	図形と相似 (2 5) ・図形と相似
	1 1	・平行線と線分の比 ・相似な図形の計量 ・相似の利用
	1 2	円の性質 (8) ・円周角と中心角 ・円の性質の利用
	1	三平方の定理 (1 5) ・三平方の定理 ・三平方の定理の利用
	2	標本調査 (6) ・標本調査

評価と評定について

○評価：次の3観点をそれぞれ3段階で表す。

【主体的に学習に取り込む態度】

- ・授業への取り組み。積極的に取り組んでいるか。
- ・ノートやワーク、宿題の提出物の提出状況

【思考・判断・表現】

- ・既習事項を活用して新たな課題を解決することができるか。
- ・「なぜそうなるのか」を考え、わかりやすく説明できるか。

【知識・技能】

- ・各単元に関する基礎的な概念や原理・法則等を理解しているか。
- ・計算、作図、式化などを数学的に表現、処理したりする方法を身に付けているか。

○評価方法

- ・毎日の授業の様子
- ・定期テスト、単元テスト、小テスト
- ・ノートやワーク等の提出物 など

○評定

- ・上記3観点の観点別学習状況の単元ごとの評価をもとにして、5段階で表す。

○道具

- ・教科書、ノート、ワーク、バインダー
- ・三角定規、コンパス、電卓などは必要な単元で連絡します。
- *使用する教科書会社名・・・『啓林館』

- 数学科よりの**
- 1 必ずやる気をもって授業に臨みましょう。
 - 2 既習事項の確認や基礎・基本の定着状況を自ら把握できるように、小テストや単元テストを実施します。授業の復習をしっかりと行いましょう。
 - 3 ノートの文字は丁寧な字で、大事なところは色ペンで、後から見てもわかるノートづくりをしよう。
 - 4 分からないことをそのままにしないようにしましょう。いつでも質問受け付けています。気軽に声をかけてください！

1年間一緒に頑張りましょう!!

3学年 数学担当

☆野村 大貴☆

☆藤田 豪☆

